

<p>千 葉</p> <p>(生育状況等)</p> <p>【生育状況】(6月15日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各品種の幼穂形成期は「ふさおとめ」「ふさこがね」で6月10日から、平年より3日早くなっている。4月20日補え「コシヒカリ」は6月19日頃から、「新平作」は6月18日頃からの見込み。 現在の生育は、4月補えは以前の品種も草丈はやや長く、茎数・葉数は平年並みに推移している。一方、5月補えの「コシヒカリ」は生育がやや遅く、草丈が短い傾向。 <p>(千葉県農林水産部 6月18日付)</p>		<p>【向こう1か月の天候の見直し 6月15日～7月14日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 6月～8月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁)</p> <p>向こう1か月結実性病害が多いと予想される。 (農林水産省 6月12日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」「ふさこがね」を中心とする品種構成となっている。令和2年産から新品種「新平作」の本格栽培が開始</p>
<p>新 潟</p> <p>(6月10日現在の県内全域の生育状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」では指標値に比べ、草丈は「並」、茎数は「並」、葉数の進みは「並」、葉色は「やや濃い」状況。 「新之助」では指標値に比べ、草丈は「並」、茎数は「少ない」、葉数の進みは「やや遅い」、葉色は「濃い」状況。 <p>(新潟県農林水産部 6月11日付)</p> <p>(生育)</p> <p>(8月10日現在)</p> <p>【村 上】「コシヒカリ」草丈：やや長 茎数：少 葉色：やや淡 葉数の進み：並。茎数は回復しつつあるが、坪場によりその程度に差が見られる。 (村上農業普及指導センター 6月13日付)</p> <p>【新 潟】5月上旬田植えは坪場の多くでは目標穂数の7～8割の茎数を確保している。(新潟県農業普及指導センター 6月11日付)</p> <p>【新 潟】「コシヒカリ」の生育状況は指標値に比べて、草丈「やや短」、茎数「少」、葉数「遅い」、葉色「濃い」となっている。一方で6月遅播始めに補えた坪場は、指標値並に生育しており、茎数も多い。「こしいさぎ」は生育は指標値並。(新潟県農業普及指導センター 6月10日付)</p> <p>【三 冬】「コシヒカリ」指標値比:草丈「並」、茎数「並」、葉数「やや遅」、葉色「並」(三冬県農業普及指導センター 6月10日付)</p> <p>【長 岡】「コシヒカリ」草丈「並」、茎数「多い」、葉数「遅い」、葉色「並」(長岡県農業普及指導センター 6月10日付)</p> <p>【南魚沼】「コシヒカリ」管内全体:草丈:並、茎数:少、葉数:並 (南魚沼農業普及指導センター 6月10日付)</p> <p>【十日町】5月中旬までに田植えした坪場では、生育は遅調に感じている。5月下旬以降に田植えした坪場では、6月初旬頃の低温により茎数の増加が緩慢となっている。(十日町農業普及指導センター 6月10日付)</p> <p>【上 越】「コシヒカリ」出穂期は、平年より2日程度「やや早い」と予想される。(今後の生育や気象の推移等が変わります)</p> <p>【上越地域農業振興協議会 上越地域農業委員会 6月14日付】</p> <p>【佐 渡】6月の生育は概ね遅調で、ほとんどの坪場で中干し時期に近づいている。強風により生育が抑えられた坪場でも茎数の増加は進んでおり、5月15日頃までに補えた坪場の多くは、6月20日までに中干し時期に達する見込み。(佐渡県農業普及指導センター 6月10日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見直し 6月15日～7月14日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシ、ニカメイガ、斑点米カメシの発生が多いと予想される。(農林水産省 6月12日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「こしいさぎ」を中心とする品種構成で、近年「コシヒカリ」が減少し、近産水稲の高い「ゆきんこ舞」「つぎあかり」及び「みずほの輝き」が増加傾向にある。また、従って稲穂種「新之助」(晩生種)の作付拡大を推奨している。</p>	
<p>富 山</p> <p>(6月11日 生育観測値)</p> <p>【本田で生育状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「てんたかく」平年に比べ、草丈は短く、茎数はやや少なく、葉色、葉数は並となっている。 「コシヒカリ」平年に比べ、草丈は短く、茎数はかなり少なく、葉色は並、葉数は4割遅れている。葉数を揃えて比較すると、平年に比べ、草丈はやや短く、茎数は並となっている。 「てんこもり」平年に比べ、草丈、葉色は並、葉数は少なく、葉数は0.2葉遅れている。葉数を揃えて比較すると、平年に比べ、草丈、葉色は並、葉数は少なくとなっている。 「富富富」近年に比べ、草丈はやや短く、茎数はかなり少なく、葉色は並、葉数は0.6葉遅れている。葉数を揃えて比較すると、草丈、茎数、葉色は近年並となっている。 <p>(富山県農業技術課 6月11日付)</p>		<p>【向こう1か月の天候の見直し 6月15日～7月14日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシ、ニカメイガ、斑点米カメシの発生が多いと予想される。(農林水産省 6月12日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっているものの、近年高温多湿で品質が安定している「てんたかく」及び「てんこもり」系のトップブランドに位置づいている「富富富」が増加傾向にある。</p>
<p>石 川</p> <p>(6月11日 生育観測値)</p> <p>【本田で生育状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「てんたかく」平年に比べ、草丈は短く、茎数はかなり少なく、葉色は並、葉数は4割遅れている。葉数を揃えて比較すると、平年に比べ、草丈はやや短く、茎数は並となっている。 「コシヒカリ」平年に比べ、草丈は短く、茎数はかなり少なく、葉色は並、葉数は4割遅れている。葉数を揃えて比較すると、平年に比べ、草丈はやや短く、茎数は並となっている。 「てんこもり」平年に比べ、草丈、葉色は並、葉数は少なく、葉数は0.2葉遅れている。葉数を揃えて比較すると、平年に比べ、草丈、葉色は並、葉数は少なくとなっている。 「富富富」近年に比べ、草丈はやや短く、茎数はかなり少なく、葉色は並、葉数は0.6葉遅れている。葉数を揃えて比較すると、草丈、茎数、葉色は近年並となっている。 <p>(富山県農業技術課 6月11日付)</p>		<p>【向こう1か月の天候の見直し 6月15日～7月14日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシ、ニカメイガ、斑点米カメシの発生が多いと予想される。(農林水産省 6月12日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「ゆきんこ舞」を中心とする品種構成であるが、近年、親オリジナル新品種の「ひくまふん」が増加傾向にある。</p>
<p>福 井</p> <p>(6月13日調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> 水稲の生育が回復。5月上旬に移植した「ハナエチゼン」や「いちほまれ」は、中干しを開始する茎数となっている圃場もある。 <p>(水田農業レベルアップ委員会技術普及推進部 6月14日付)</p> <p>(生育)</p>		<p>【向こう1か月の天候の見直し 6月15日～7月14日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシ、ニカメイガ、斑点米カメシの発生が多いと予想される。(農林水産省 6月12日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「ハナエチゼン」を中心とする品種構成である。なお、新品種である「いちほまれ」が増加傾向にある。</p>
<p>長 野</p> <p>(6月14日現在) (安曇野市の定点圃場)「コシヒカリ」「あきたこまち」「美山錦」</p> <ul style="list-style-type: none"> 草丈は平年並～長く、茎数は平年より多い状況。このところの高温で生育がかなり旺盛になっている模様。 センターの現地巡回調査では、5月上旬田植えでは分けつ数は確保されており、まもなく中干しの時期を迎える。 一方、5月下旬補えは田植えが遅いほど、また同じ田植え日なら穂高が高い圃場でも分けつが少ない傾向。 <p>(長野県北地域振興局松本農業農村支援センター 6月17日付)</p> <p>(生育)</p>		<p>【向こう1か月の天候の見直し 6月15日～7月14日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 6月～8月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はない。舊のオリジナル品種「美さやか」の導入が進んでいる。</p>
<p>滋 賀</p> <p>(農業技術振興センター 水稲作況調査 5月31日時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 草丈は、「みずかがみ」は平年よりやや短く、「コシヒカリ」は平年より短かった。 茎数は、「みずかがみ」は平年並み、「コシヒカリ」は平年より少なかった。 主幹葉数は、「みずかがみ」は平年並み、「コシヒカリ」は平年よりやや少なかった。 「きらみずき」の草丈、茎数、葉数はそれぞれ24.0cm、103本/㎡、5.4枚であった。 <p>(滋賀県農業技術振興センター 6月10日付)</p> <p>(生育)</p>		<p>【向こう1か月の天候の見直し 6月15日～7月14日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並みが多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁大坂府気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 6月～8月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並みが多い見込み。 (気象庁大坂府気象台)</p> <p>向こう1か月いもち病、結実性病害の発生が多いと予想される。 (農林水産省 6月12日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」、「キヌヒカリ」「みずかがみ」及び「日本晴」を中心とする品種構成である。近年、高温多湿性に優れた「みずかがみ」の作付けが推進されている。</p>
<p>兵 庫</p> <p>(5月29日現在)</p> <p>【県北】移植後、気温の高低差が大きいものの、本田での生育は順調である。</p> <p>【県南】現在、苗の生育は順調である。</p> <p>(兵庫県農林水産部 6月3日付)</p> <p>(育苗/生育)</p>		<p>【向こう1か月の天候の見直し 6月15日～7月14日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並みが多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁大坂府気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 6月～8月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並みが多い見込み。 (気象庁大坂府気象台)</p> <p>向こう1か月いもち病、結実性病害の発生が多いと予想される。 (農林水産省 6月12日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」「キヌヒカリ」及び「山崎錦」を中心とする品種構成である。「きむむすの」の作付拡大を推奨している。</p>
<p>岡 山</p> <ul style="list-style-type: none"> 中北部地域の田植え時期、生育状況は概ね平年並である。 <p>(岡山県 5月29日付)</p> <p>(生育)</p>		<p>【向こう1か月の天候の見直し 6月15日～7月14日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並みが多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 6月～8月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並みが多い見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p>	<p>・「アケボノ」、「きむむすの」、「コシヒカリ」「あきたこまち」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。近年「きむむすの」が増加傾向となっている。</p>
<p>広 島</p> <p>(6月14日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> 草丈は平年並～長く、茎数は平年より多い状況。このところの高温で生育がかなり旺盛になっている模様。 センターの現地巡回調査では、5月上旬田植えでは分けつ数は確保されており、まもなく中干しの時期を迎える。 一方、5月下旬補えは田植えが遅いほど、また同じ田植え日なら穂高が高い圃場でも分けつが少ない傾向。 <p>(広島県農林水産部 6月17日付)</p> <p>(生育)</p>		<p>【向こう1か月の天候の見直し 6月15日～7月14日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 6月～8月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並みが多い見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」、「あきたこまち」を中心とする品種構成である。</p>

愛 媛	<p>(生育状況等)</p> <p>〔6月17日現在〕「ひめの葉」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月22日移植、移植後25日時点での茎数は18.0本/株。移植後25日頃の茎数は、前年度よりも5.5本/株多く、生育は早い。 <p>(愛媛県農林水産研究所 6月18日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月15日～7月14日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシ、いもち病、斑点米カメムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 6月12日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ヒノヒカリ」「コシヒカリ」「あきたこまち」及び「にこまる」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「ヒノヒカリ」から「にこまる」「ひめの葉」への品種変更が定着してきている。
高 知	<p>(5月)</p> <p>【早期稲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生育は概ね順調。強風による葉の折れや外葉の枯れが見られる箇所があるが、生育への大きな影響は確認されていない。 ・移植が遅れた一部ほ場ではスクミリンゴガイによる欠株が多く見られたほか、苗いもちを持ち込んだほ場で葉いもちの発生が見られた。 <p>【普通稲期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移植は5月初旬から始まり、最盛期は5月下旬でほぼ平年並になる見込みである。 ・一部で育苗期間中に苗いもちやばか苗病の発生が報告されている。移植後の生育は概ね順調である。 <p>(高知県農林水産部 6月5日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月15日～7月14日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシ、いもち病、斑点米カメムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 6月12日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。
福 岡	<p>【早期水稲(夢つくし、コシヒカリ)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期水稲の移植は平年並で、5月15日までに終了した(最盛期は4月下旬)。 ・平年並～やや高い気温で経過しており、活着は概ね順調。 <p>【普通稲水稲(夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリなど)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、6月上旬移植用の播種及び育苗作業が行われている。 ・移植は、「夢つくし」で6月上旬、「元気つくし」で6月中旬、「ヒノヒカリ」で6月下旬を中心に行われる見込み。 <p>(福岡県農林業総合試験場 5月22日付)</p> <p>(移植)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月15日～7月14日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州北部地方の3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 6月12日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ヒノヒカリ」「夢つくし」及び「元気つくし」を中心とする品種構成であるが、「元気つくし」が増加傾向となっている。横では「夢つくし」の拡大を推奨している。
熊 本	<p>(5月中旬)</p> <p>【作物の生育状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期水稲は分けつ期 <p>(宮崎県農林水産部 5月23日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月15日～7月14日】 九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ヒノヒカリ」「森のくまさん」及び「コシヒカリ」を中心とする品種構成である。「くまさんの輝き」はリーディング品種として取扱いが年々拡大している。
宮 崎	<p>(5月中旬)</p> <p>【作物の生育状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期水稲は分けつ期 <p>(宮崎県農林水産部 5月23日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月15日～7月14日】 九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「みま38」への移行誘導が進められている。
鹿 児 島	<p>(5月中旬)</p> <p>【作物の生育状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期水稲は分けつ期 <p>(鹿児島県農林水産部 5月23日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月15日～7月14日】 九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。早期栽培では、収量水準の高い「なつほのか」への移行が急速に進んでいる。

注1：圖及び地方官研修、出席者等がホームページで公表している資料を本報掲載情報で取り纏め。
注2：生育状況等(農林水産省発表資料の最新)については令和6年6月10日15時時点での取り纏め。
注3：更新箇所は赤字で示した。

引用資料:

農作物の生育状況(6月15日現在)(北海道農政部 6月17日)、
農作物生育状況(6月15日現在)(北海道空知総合振興局 6月17日)、
農作物生育状況(6月15日現在)(北海道石狩総合振興局 6月17日)、
農作物生育状況(6月15日現在)(北海道後志総合振興局 6月17日)、
農作物の生育状況(6月15日現在)(北海道胆振総合振興局 6月17日)、
農作物の生育状況(6月15日現在)(北海道渡島総合振興局 6月17日)、
農作物の生育状況(6月15日現在)(北海道日高総合振興局 6月17日)、
農作物の生育状況(6月15日現在)(北海道檜山総合振興局 6月17日)、
農作物の生育状況(6月15日現在)(北海道上川総合振興局 6月17日)、
農作物生育状況調査の概要(6月15日現在)(北海道留萌総合振興局 6月17日)、
農作物の生育と農作業の進捗状況(6月15日現在)(北海道オホーツク総合振興局 6月17日)、
水稲作況調査(6月10日現在の生育状況)(地独)青森県産業技術センター農林総合研究所 6月10日)、
令和6年度岩手県内の水稲の生育概況(6月13日現在 速報)(岩手県農林水産部農業技術普及課 6月14日)、
栗原の稲作通信令和6年第3号(宮城県栗原農業改良普及センター 6月14日)、
稲作情報vol.3(宮城県石巻農業改良普及センター 6月13日)、
作況ニュース(第3号)(秋田県農林水産部 6月14日)、
酒田・飽海米づくり情報第7号(山形県庄内総合支庁酒田農業技術普及課 6月11日)、
稲作だより第6号(山形県庄内総合支庁山形県最上総合支庁農業技術普及課 6月17日)、
主要な農作物の生育情報令和6年度第3号(令和6年6月10日現在)(福島県 6月10日)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 6月18日)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 6月11日)、
水稲生育診断速報2024No.2(栃木県農政部経営技術課 6月14日)、
水稲の生育状況と当面の対策第3報(千葉県農林水産部 6月18日)、
水稲の生育状況と今後の管理対策(第2号)(新潟県農林水産部 6月11日)、
R6岩船米生育速報(6月10日現在)(新潟県村上農業普及指導センター 6月13日)、
令和6年度新発田地域水稲生育速報No.2(新潟県新発田農業普及指導センター 6月11日)、
稲作速報No.2(新潟県新潟農業普及指導センター 6月10日)、
FAX稲作情報No.4(新潟県三条農業普及指導センター 6月10日)、
水稲生育速報(新潟県長岡農業普及指導センター 6月10日)、
南魚沼産コシヒカリ生育速報No.2(6月10日調査)(新潟県南魚沼農業普及指導センター 6月10日)、
十日町地域稲作生育速報(新潟県十日町地域農業普及指導センター・十日町地域農業振興協議会魚沼米振興部会 6月10日)、
令和6年度上越地域米コシヒカリ・こしいぶき生育速報No.2(新潟県上越農業普及指導センター 6月10日)、
令和6年度稲作生育速報No.2(新潟県佐渡農業普及指導センター 6月10日)、
令和6年度「上越地域米」栽培技術情報No.4(上越地域農業振興協議会上越地域米振興部会 6月14日)、
TACS情報第3号(富山県 6月11日)、
稲作情報No.8(水稲レベルアップ委員会技術普及推進部会 作成:福井県農業試験場、福井米戦略課、JA福井県中央会 6月14日)、
令和6年度稲作生育診断情報No.1(滋賀県農業技術振興センター 6月10日)、
令和6年度病害虫発生予報第3号(岡山県 5月29日)、
2024年度「ひめの凜」の生育状況(愛媛県農林水産研究所 6月18日)、
病害虫発生予報情報について令和6年度病害虫発生予察5月月報(高知県病害虫防除所 6月5日)、
主な農産物の生産状況(令和6年5月16日 専技情報より抜粋)(福岡県農林業総合試験場 5月22日)、
令和6年度病害虫発生予報第2号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 5月23日)、

北海道地方向こう1か月の天候の見通し(6月13日札幌管区气象台)、東北地方向こう1か月の天候の見通し(6月13日仙台管区气象台)、関東甲信地方向こう1か月の天候の見通し(6月13日气象台)、
北陸地方向こう1か月の天候の見通し(6月13日新潟地方气象台)、近畿地方向こう1か月の天候の見通し(6月13日大阪管区气象台)、中国地方向こう1か月の天候の見通し(6月13日広島地方气象台)、
四国地方向こう1か月の天候の見通し(6月13日高松地方气象台)、九州北部地方向こう1か月の天候の見通し(6月13日福岡管区气象台)、
九州南部・奄美地方向こう1か月の天候の見通し(6月13日鹿児島地方气象台)、

北海道地方向こう3か月の天候の見通し(5月21日札幌管区气象台)、東北地方向こう3か月の天候の見通し(5月21日仙台管区气象台)、関東甲信地方向こう3か月の天候の見通し(5月21日气象台)、
北陸地方向こう3か月の天候の見通し(5月21日新潟地方气象台)、近畿地方向こう3か月の天候の見通し(5月21日大阪管区气象台)、中国地方向こう3か月の天候の見通し(5月21日広島地方气象台)、
四国地方向こう3か月の天候の見通し(5月21日高松地方气象台)、九州北部地方向こう3か月の天候の見通し(5月21日福岡管区气象台)、
九州南部・奄美地方向こう3か月の天候の見通し(5月21日鹿児島地方气象台)、

早期天候情報(6月13日14時30分)(气象台)、

エルニーニョ監視速報(No.381)(气象台 6月10日)、

令和6年度病害虫発生予報第3号(農林水産省 6月12日)、
令和6年度水稲の10a当たり平均収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 3月12日)